

令和5年度 離島地域における生活物資の価格形成要因の実態把握等に関する調査(概要)

- 令和2年度に実施した離島地域における生活物資の物価調査結果によれば、離島の物価は、対岸本土と比較して、品目によって1～3割程度高くなっている。その要因としては、流通段階において海上輸送費が発生することや販売規模が小さいこと等があげられている。一方、その価格差を具体的に見てみると、物資の種類、離島の規模や輸送ルート状況等によっても大きく異なっており、これらについては、より詳細な分析が必要である。そのため、令和5年度は離島の物価の実態把握や、実態に基づいた有効な取組の可能性について、委託調査を実施。
- 詳細な分析に先立ち、令和2年度調査の妥当性を有識者に対して確認。調査項目などは概ね妥当であり、分析上必要なデータは確保できているとの評価。
- 人口規模が1万人を超える離島では、最寄品25品目のうち、本土との価格差が1割未満の品目が約半数であり、必ずしも高いとはいえない状況を確認。

令和5年度調査内容

【本土と離島間における生活物資（食品、日用品）の価格差が生じている要因の分析及び検証】

過年度の類似調査の結果や、既往の情報を元に、本土と離島間における生活物資の価格差が生じている要因の検証を実施。

- ・令和2年度の調査の離島毎の地域特性と物価との関係性や価格形成要因（物流、仕入れ、販売）の検証
- ・大手小売業、卸売業へのヒアリング、離島の小売店へのアンケート調査

【離島における生活物資の調達に関する実態調査】

- ・離島におけるEコマースの利活用に係る実態把握
- ・離島における物価抑制に資する事例調査

公設民営店舗、大手スーパー・コンビニチェーン・ボランティアチェーン（※）との協働等に関する事例収集（中山間地域等の他の条件不利地域も対象）

（※）ボランティアチェーン（VC）とは、同じ目的を持つ独立事業者が主体的に参画・結合し、チェーンオペレーションの仕組みを構築・活用して、地域生活者のニーズに対応した商品・サービスを提供する組織。

【有識者ヒアリング】

（有識者）

流通経済大学 矢野 裕児 教授（物流）

獨協大学 樋田 勉 教授（統計）

尚美学園大学 上村 博昭 教授（経済地理学）

一橋大学 若森 直樹 教授（産業組織論）

【調査結果とりまとめ】

【対岸本土側平均価格と人口規模別による価格との比較】

項目	対岸本土都市平均	離島平均		～500人		500～10000人		10000人～	
	A	B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A
食パン	418	510	1.22	561	1.34	463	1.11	436	1.04
カップ麺	155	183	1.18	197	1.27	184	1.19	178	1.15
まぐろ	420	469	1.12	533	1.27	518	1.23	433	1.03
さけ	374	381	1.02	399	1.07	422	1.13	361	0.97
かまぼこ	153	195	1.27	196	1.28	180	1.18	169	1.10
牛肉	825	713	0.86	559	0.68	517	0.63	859	1.04
豚肉	143	214	1.50	228	1.59	185	1.29	216	1.51
鶏肉	132	148	1.12	148	1.12	128	0.97	127	0.96
ソーセージ	181	212	1.17	200	1.10	213	1.18	215	1.19
牛乳	217	277	1.28	307	1.42	280	1.29	268	1.23
ヨーグルト	159	199	1.25	223	1.40	210	1.32	186	1.17
鶏卵	207	236	1.14	262	1.27	244	1.18	218	1.05
キャベツ	120	215	1.79	201	1.68	188	1.57	153	1.28
ねぎ	612	618	1.01	612	1.00	665	1.09	535	0.87
レタス	306	392	1.28	550	1.80	289	0.95	355	1.16
にんじん	360	352	0.98	345	0.96	277	0.77	303	0.84
たまねぎ	228	265	1.16	227	1.00	214	0.94	207	0.91
きゅうり	568	589	1.04	698	1.23	557	0.98	579	1.02
トマト	654	721	1.10	663	1.01	640	0.98	789	1.21
豆腐	212	434	2.05	419	1.98	420	1.98	445	2.10
納豆	92	127	1.38	147	1.60	129	1.41	118	1.29
りんご	505	507	1.00	421	0.83	516	1.02	524	1.04
食用油	275	372	1.35	386	1.40	358	1.30	356	1.29
アイスクリーム	270	210	0.78	190	0.70	195	0.72	223	0.82
洗濯用洗剤	302	467	1.55	438	1.45	407	1.35	368	1.22
Aとの価格差1割未満の品目数/割合									
		7	28%	8	32%	10	40%	12	48%
Aとの価格差1～3割の品目数/割合									
		12	48%	7	28%	9	36%	11	44%
Aとの価格差3割以上の品目数/割合									
		6	24%	10	40%	6	24%	2	8%

（備考）

- ・離島データは、令和2年度国土交通省離島振興課調査（調査時期：令和2年12月7日～令和3年1月16日のうち任意の1日、サンプル数：319、回収率35.1%）、本土（全国平均）データは、総務省統計局「小売物価統計調査（動向編）令和2年12月」の調査結果を用いて集計。
- ・調査対象品目56品目のうち、令和2年度調査では検証対象品目が明確ではなかったところ、最寄品（消費者が頻繁に手軽に購入する商品）45品目を対象として、さらに最寄品のうち、「2020年消費者物価指数」において、年間購入頻度階級として「1か月に1回程度購入する品目」、「頻繁に購入する品目」に該当する25品目に焦点を当てて検証。